

# 平成 24 年度 消火設備機器等劣化調査・検討委員会 活動報告（概要）

平成 25 年 6 月  
一般社団法人 日本消火装置工業会

## 1. 委員会

### (1) 調査・検討項目

設置期間は 5 年とし、調査・検討項目は以下の通りである。

- ①劣化機器の評価方法および基準の策定
- ②消火設備機器等の劣化状況の調査・データ収集
- ③劣化機器に対する評価の実施
- ④劣化機器に対する更新制度の策定
- ⑤その他

### (2) 委員構成

13 社 13 名と消防関係 2 機関 2 名の計 15 名で構成

### (3) 開催回数

第 23 回（4 月 12 日）～第 29 回（3 月 22 日）まで、7 回開催した。

## 2. 劣化機器の回収作業

本年度は、委員会回収グループが直接回収作業を行なった物件が 4 件、解体作業者に回収して頂いた物件が 1 件で、計 5 件の回収があった。

①某ビル（H24. 5. 31）	SP ヘッド、消火栓開閉弁、二酸化炭素制御盤の回収を実施。
②某社研究所（H24. 12～H25. 1）	SP ヘッド（約 100 個）、流水検知装置 32 台の回収を実施。
③某ビル（H25. 2. 14）	SP ヘッド、流水検知装置、フォームヘッド、消火栓開閉弁、ハロン制御盤、操作箱、選択弁の回収を実施。
④某ビル（H25. 4. 24）	SP ヘッド、流水検知装置、消防隊専用栓、フォームヘッド、二酸化炭素制御盤、選択弁、操作箱の回収を実施。
⑤某ビル（H25. 5. 31）	SP ヘッド、流水検知装置、消火栓開閉弁、二酸化炭素制御盤、選択弁、操作箱の回収を実施。

上表のほか、委員会社より容器弁 1 件。

## 3. 回収サンプル評価試験

### (1) 流水検知装置

日本消防検定協会の分場試験場において、委員会の評価実施グループメンバーが参加して流水検知装置の評価試験を 2 回（6 月 7 日及び 12 月 14 日）実施した。

今回の試料は、圧力スイッチへの流路の詰まり、耐圧試験や作動試験で性能を満足しないものがあった。

### (2) スプリンクラーヘッド

回収したスプリンクラーヘッド約 150 個について評価試験を実施した。一部のサンプルで作動時間の変動（長くなっている）などが認められた。

### (3) 消火栓開閉弁

6 物件 17 台の試料について、まとめて 1 回で評価試験を行った（3 月実施）。前回の試験と同様に、ゴム部品の劣化が多くみられた。

(4) **フォームヘッド**

1件の回収フォームヘッドについて、会員各社にて評価試験を実施した(9月)。調査した範囲内では大きな不具合項目は見つからなかった。

(5) **ガス系制御盤**

1物件で回収した1面について会員会社にて評価試験を実施した。継電器の接触抵抗が増加していた。

(6) **ガス系容器弁**

容器弁点検で回収している試料の中からサンプルを抽出し、評価試験を1件実施したほか、工業会として調査を進めたため、大量のデータを収集できた(後述)。

(7) **ガス系選択弁**

1物件で回収した1台について会員会社にて評価試験を実施した結果、操作力が増加していた。

**4. 容器弁の劣化調査**

関係各社で回収した容器弁の機能試験を行った。試験は、当委員会で制定した評価項目について行ったが、数値的に確認できたのは安全装置の作動圧力値のみである。

関係8社の協力により、容器弁544個(二酸化炭素273個、ハロゲン化物271個)について、外観、気密、安全装置作動、部品、各検査項目のデータを収集することが出来た。

**5. その他**

(1) **スプリンクラー設備機器に関するヒアリング対応**

「スプリンクラー設備構成機器の故障率、劣化に関するヒアリング」について、消防庁の委託を受けた会社が当工業会を訪問され、当委員会で対応した。予作動弁や予作動弁制御盤の劣化等についての質問があったが、現状回収できておらず、データがない旨を説明した。

(2) **耐用年数資料の検討**

当工業会で公開している「消火設備の維持に関するご提案」の内容である「推奨交換年数表」に、新たに機器を追加したいという意向があり、内容を検討している(継続検討)。

関係する工業会の意見もヒアリングしながら資料のまとめを行う予定。

以 上